

# COVID-19パンデミック 中の子どもの保護

## 子どもと代替養育

### 緊急対応の方法

このテクニカルノートはBetter Care Network、人道行動における子どもの保護のためのアライアンス (The Alliance for Child Protection in Humanitarian Action) と国連児童基金(UNICEF)の協力によって執筆されました。

**Better  
Care  
Network**

  
**THE ALLIANCE**  
FOR CHILD PROTECTION IN HUMANITARIAN ACTION

**unicef**   
for every child

## はじめに

過去の感染症流行のエビデンスによると、既存の児童保護リスクが悪化し、感染流行の結果として新たなリスクが出現することで、予防と管理による社会経済的影響が表出することが示されています。このような状況下では、特に親/家族が養育していない子ども、家族と離別するリスクがある子ども、社会的養育を受けている子ども、最近社会的養育を離れた子どものリスクが高まります。このテクニカルノートの目的は、COVID-19パンデミックの中で、分離のリスクにさらされている子どもや社会的養育を受けている子どもが直面する、児童保護の課題に対し、児童保護の実践者と政府職員の緊急対応を支援することです。この文書は、The Alliance for Child Protection in Humanitarian Action が発行した「テクニカルノート：コロナウイルスパンデミック下の子どもの保護」を元に、児童保護とケアに特化した機関相互タスクフォースの実践者が、子どものケアと保護に関連する国際基準や実践に沿って開発しました<sup>1</sup>。



Photo by Giuseppe Argenziano, Italy, Unsplash

<sup>1</sup> The Technical Note is framed by applicable international standards, including the [Convention on the Rights of the Child](#), the [Convention on the Rights of Persons with Disabilities](#), the [Guidelines for the Alternative Care of Children](#) and the [2019 Child Protection Minimum Standards](#), in particular: Standard 13: Unaccompanied and separated children; Standard 16: Strengthening family and caregiving environments; Standard 18: Case management; Standard 19: Alternative care.

家庭



はじめに



COVID-19 がもたらす分離のリスクや社会的養育の子どもへの影響



プログラム作成の手法



子どもを家庭で安全に育てる



社会的養育の子どもへの保護



路上生活をしている子どもの保護



社会的養育を離れた若者と自立した人を支援する



その他のリソース



## COVID-19 がもたらす分離のリスクや社会的養育の子どもへの影響

COVID-19 および関連する封じ込め措置によって引き起こされる混乱は、子ども、家族、およびより広範な環境に影響を及ぼします。緊急対応によって一部の公共サービスが閉鎖されることで、既に負担がかかっている他サービスへの負担が著しく増すことになります。

貧困やリソースが限られた家庭がCOVID-19の感染防止とコントロールに関連する移動や公共交通機関の使用制限等の措置の影響を受けると、収入/雇用の減少、学校の閉鎖、社会サービスと支援へのアクセス、飢餓、社会的孤立につながります。ストレスの高い家庭環境は家庭内虐待の可能性が高まるだけでなく、家族間の衝突や暴力、市民の不安を増大させます。コロナウィルスの封じ込め措置が結果として子どもと家族の分離につながるリスクや、COVID-19危機が家族の養育能力に及ぼす長期的な社会経済的影響を考慮すると、分離の危険がある子どもや代替養育を必要とする子どもの数が増加することが予測されます。

多くのケースでは、親や養育者は他の家族や親族に頼って子育てをします。しかし、いくつかのケースでは、代替養育が必要になります。家族が困難から立ち直る力を高め、不必要な施設養育を防ぐために、先制的に家族的養育と社会保護システムの能力を拡充する取り組みが重要です。

Photo by Jennifer Araujo, Unsplash

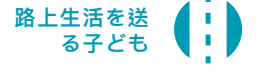


パンデミックが子ども、家族、地域社会に与える影響は、状況やパンデミックの段階や規模によって異なります。同様に、制度についても様々なキャパシティがあるといえます。パンデミックが子どもと家族に与える影響に対応するための政府のシステム全般や、特に児童保護システムなど。

### すでに社会的養育にいる子どもは、特定の課題に直面しています：

- 親族里親(多くの場合、祖父母および/または高齢者)は、自身の健康上の脆弱性が高まることで、健康上の理由から一時的に子育てができなくなるかもしれません。また、パンデミックによる経済的影響のために、一時的に里親委託の必要性が生じるかもしれません。
- 施設にいる子どものリスクは、施設の急速な閉鎖によって適切な準備なしに家庭や地域社会に戻すことによって引き起こされるかもしれません。また、クラスター感染を起こしやすい集団養育という、施設にいて生じるリスクもあり、感染リスクだけでなく虐待やネグレクト、搾取にさらされるリスクも考えられます。これは、施設に入所することが多い障害児にとって、特に高いリスクとなります。それは、このような障害児は、場合によっては(免疫不全を含む特定の既存基礎疾患または障害のために) COVID-19に感染するとより深刻な影響を被るリスクがあるからです。
- 支援を受けながら自立生活をしている子どもたちは、仲間からの孤立と分離のリスクが高まり、現金やその他の日々のニーズに対する支援が不足している可能性があります。
- 社会的養育を受けていて、その措置に不満を持っている子どもにとっては、強制的なロックダウンが耐え難いでしょう。社会的養育から移行したばかりの人は、極端な社会的孤立に直面し、特に大変な時期に財政的および実用的な支援が不足する可能性もあります。

路上生活をしている子どもや難民、移民の子どもたちにとって、ロックダウンや社会サービスの停止により、援助やサービスへのアクセスはさらに困難になり、逮捕や拘禁に直面する可能性さえあります。難民や移民の子どもたちは、法的、文書的、言語的または安全上の障壁のために、必要なサービスにアクセスするのを妨げられる可能性があります。



## プログラム作成の手法

すべての関係者が関与し参加することは、子どもたちへのサービスの継続性を維持する上で重要な意味をもっています。ケアセクターは、子ども、青少年、家族、政府、市民社会、寄付者など、幅広い利害関係者で構成されています。[以下の3つの緊急対応支援に置けるプログラム作成をする上で有用なヒントを](#) [むには、ここをクリックしてください。](#)

- 子ども、家族、保護者、信仰指導者を含む地域社会の巻き込み
- セクター間および政府との連携
- 寄付者との関わり



Photo by Save the Children

### RESOURCES

- [Preventive and Responsive Support to Children, Families and Alternative Care Providers During COVID-19 \(Changing the Way We Care\)](#)
- [What Parents Should Know \(UNICEF\)](#)  
[Positive Parenting \(End Violence\)](#)  
[Protection of Children During Infectious Disease Outbreaks \(The Alliance\)](#)
- [COVID-19 and the Disability Movement \(IDA\)](#)
- [Mental Health Considerations During COVID-19 \(WHO\)](#)  
[Addressing Mental Health and Psychosocial Aspects of COVID-19 \(IASC\)](#)  
[Psychological Coping During a Disease Outbreak \(PS Centre - IFRCRC\)](#)

## 子どもを家庭で安全に育てる

政府や市民社会は、子どもを家庭環境で安全に育てることを優先するために、家族や地域社会への強力な支援を計画する必要があります。家族は子育てにまつわる決定を下し、支援者は家族が安全に一緒にいることができるように、どのような支援が必要かを特定します<sup>2</sup>。家族が安全に子育てできるように、食料や経済的不安定さなどのストレス要因を減らし、子育て支援などによって子育て力を高める必要があります<sup>3</sup>。このような支援は、児童労働、児童婚、児童人身売買などの有害な行為のリスクも軽減します。

### 子どもと家族の分離を防ぎ、家族での養育を守るために何をしなければならないか

- [水/石鹸のアクセスが限られている状況を含め](#)、COVID-19の感染拡大を防ぐ方法について、家族、養育者、子どもに知見を提供し、衛生キットなどのリソースを利用可能にし、障害を持つ子どもや親が、知識とリソースにアクセスできるようにします<sup>4</sup>。
- セルフケア、メンタルヘルス、心理社会的支援<sup>5</sup>、ポジティブな子育て<sup>6</sup>、子どもの行動について、家庭での活動に関して<sup>7</sup>、などの障害に配慮したメッセージを発信します。障害のある人がメッセージにアクセスできるように、特に注意を払ってください。
- 高齢者に対する健康リスクの増加を認識し、子育てをする人に優先的に支援と資源が提供されるようにします<sup>8</sup>。
- 親や養育者が病気になったり、病気の家族の世話をしなければならなくなった場合の、子どもの養育者を決めておくことを推奨し、また家族や親戚が利用可能な技術を駆使して遠隔支援をすることを奨励します<sup>9</sup>。

<sup>6</sup> [Parenting during COVID-19](#)

<sup>7</sup> [みんながヒーロー](#)

<sup>8</sup> [COVID-19 Fact Sheet for Grandfamilies and Multigenerational Families \(GU\)](#)  
[MHPSS During Disease Outbreak – Elderly \(PS Centre - IFRCRC\)](#)

<sup>9</sup> [How to Talk to your Child about Coronavirus \(UNICEF\)](#)

家庭



序論



影響



アプローチ



家庭での養育



代替養育



路上生活を送る子ども



自立者



補足資料





- 現金の送金に関する条件を取り除き、住民の居住地外での資金アクセスを促進することによって、給付金にアクセスする際の障壁を取り除きます<sup>10</sup>。
- 家族、教師、保健領域や地域の他のワーカーに、障害や家族の死や病気などに伴い高い保護ニーズがある子どもや分離リスクが高い子どもを特定し、対処する方法について知らせます<sup>11</sup>。
- パンデミック前からすでに分離の危険があるとされている子どものために、社会福祉のワーカーは継続的なサポートを提供し、電話やその他遠隔の連絡手段で定期的にフォローアップする必要があります。
- 信仰指導者を含む地域のリーダーと協力して、COVID-19に感染した人や感染にさらされた人、回復者に対する汚名や噂に立ち向かい、症状、伝染経路、回復に関する基本的な事実を普及するよう彼らを支援します(ラジオ、メガホン/ソーシャルメディアなどを使用)<sup>12</sup>。
- 予防、治療と検査などの保健サービスへのアクセス、社会的保護プログラム、子どもに優しい情報発信、可能な場合はオンラインサポートを含んだ問い合わせ方法などの重要な優先措置において、文書化されていない子どもや家族を含む移民、難民、無国籍および国内避難民の子どもや家族を特定し、支援がいきわたるようにします<sup>13</sup>。



Photo by Save the Children

家庭



序論



影響



アプローチ



家庭での養育



代替養育



路上生活を送る子ども



自立者



補足資料



## RESOURCES

<sup>10</sup> [Cash and Voucher Programming for Social Protection During COVID-19 \(World Vision\)](#)

<sup>11</sup> [Global Rapid Gender Analysis for COVID-19 \(IRC\)](#)

<sup>12</sup> [COVID-19 Stigma Guide](#)

<sup>13</sup> [Scaling Up COVID-19 Readiness and Response Operations including Camp and Camp-Like Settings \(IASC Quick Tips on COVID-19 and Migrant, Refugee and Internally Displaced Children \(Children on the Move\)\)](#)



## 社会的養育の子どもの保護

社会福祉サービスの麻痺や、負担増大をしていたり、社会的孤立対策が求められる状況から、家族的代替養育(親族および里親養育)への支援を優先し、施設養育の使用を厳しく制限することを保証することがこの緊急事態下では重要です。養育措置を監督する代替養育の提供者やスタッフも影響を受けていることから、これに対処するために新しい戦略を緊急に実行する必要があります。この緊急事態の規模と範囲を考えると、代替養育のなかでも特に緊急時の一時保護の必要性が高まることから、提供者はその需要を満たすための行動計画を持つべきです。

### 社会的養育の子どもの保護するために何をすべきか:

- 社会的養育を含む緊急計画は、支援提供者や地域の関係機関と協力して児童福祉当局によって開発されるべきです。この計画は、緊急事態が流動的で、(最大18ヶ月)の一定期間持続することを考慮に入れる必要があります。児童福祉当局が存在していない、または活動を停止した地域では、児童福祉の従事者は、地域の保健や教育関係者を含む地域の指導者や提供者と協力して、この計画を策定すべきです。

### これらの計画には、最低限以下のものを含める必要があります:

- 家庭に基盤を置く代替養育の優先や施設に頼るよりも親子分離防止を支持する明確な政策表明が、医療施設、警察署、裁判所、地方議会、地域社会の児童保護機関/制度に通達されるべきです。
- 代替養育は、政府による緊急管理の枠組みの中で「不可欠なサービス」に分類される必要があります。
- 受付手順を修正する際には、オンラインおよび電話による通報のスクリーニング、措置の必要性と適正の評価、児童福祉当局による措置とモニタリングに関する承認が含まれるべきです。
- 緊急事態下で、通常とは異なる方法で施設入所する場合は、制限または禁止事項を設ける必要があります。施設運営者は、正式な受付手順に沿わずに子どもが施設に連れてこられた場合、直ちに当局に通知する必要があります。

- 地方自治体は、子どもが濃厚接触した場合や感染症状があり隔離期間を必要とする場合の対応を含む、分離されたまたは同伴者のいない子どもの暫定的なケアニーズに対処するために標準運用手順(SOPs)利用を可能にする必要があります。特に、障害児を含め、COVID-19への対応のために不必要に施設に頼ることがないように注意が必要です<sup>14</sup>。
- 児童福祉当局は、新たな施設開設禁止令を指示とともに広く発令し、既存施設への新しい委託について現行または修正された利用手順を強化するよう書信を発行すべきです。
- それぞれの養育施設は、政府の隔離についての規制/指令においては単一の居住単位として分類されるべきであり、施設内の社会的距離の確保、隔離および検疫措置の要件に関して明確な基準が全ての施設に配布される必要があります。
- 養育施設は、それぞれの子どもに対して効果的なケアと支援計画を立てずに急速に閉鎖されるべきではありません。
- 政府は、関連する児童福祉関係者と協力して、購入や移動についての制限が課された場合、または、商品が不足し、通常の手段を通じて供給することが困難になった場合に、社会的養育の提供者に不可欠な商品(食品、衛生製品、必須/基礎医療品)および重要なサービス(障害を持つ子どものために特別に必要なものを含む)のサプライチェーンを確保/保証する必要があります。
- 隔離が必要なスタッフのための一時的な配置変換計画と共に、緊急事態中に必要なケースワーカーや不可欠なリソースを含む主要な人員/スタッフのレビューと選別を実施し、危機対応のシステムとサービスを迅速に実施するために児童保護当局が柔軟に使える追加資金を準備する必要があります。

### RESOURCE

<sup>14</sup> [COVID-19 and the Disability Movement \(IDA\)](#)

家庭



序論



影響



アプローチ



家庭での養育



代替養育



路上生活を送る子ども



自立者



補足資料





- 標準運用手順(SOPs)は、家族が養育できる子どもの家族再統合を優先すべきであり、代替養育からの秩序だった再統合を目指して開発されるべきです。これには、子どもが戻る場所の文書化と連絡先情報が含まれている必要があります。
- 子ども、家族、施設が虐待やネグレクトを報告するためのホットラインとチャイルドヘルプラインの能力を強化します。

#### その他の優先されるべきアクションは、次のものです:

- すべての子ども、養育者、スタッフは、障害を持つ子どもも活用できるように、子どもに理解しやすい表現と配信方法を考慮したCOVID-19関連の安全衛生トレーニングを受ける必要があります<sup>15</sup>。
- 慢性疾患や基礎疾患を持つ子どもやウイルスにさらされた子ども、家庭や施設内で危険にさらされたその他の人を支援する養育者に適切な個人用保護具(PPE)を提供する必要があります。
- 親族里親と里親家庭で緊急時に子育てにかかる追加費用について考慮されるべきであり、財政、健康、教育を含む追加の物質的支援を受けるべきです。
- 代替養育が、障害のある子ども、特別なニーズがある/または基礎疾患があり、COVID-19により入院が求められるようにより甚大な影響を受ける可能性のある子どもへの特別なニーズに対応することができるよう関係保健機関と協力して追加の支援源を特定し、確保します<sup>16</sup>。
- 里親支援者は、家族の中で子どもの再統合が保留されているすべてのケースを見直す必要があります。再統合を進めるのが現時点でも可能で安全であるかどうか、そしてそれが子どもの最善の利益であるならば、それを前倒しできるかどうかの決定を下すべきです。家族の支援ニーズを特定し、この子どものために適切に育てることができるよう支援が提供されるべきです。



Photo by Nayeli Dalton, Unsplash



#### RESOURCES

<sup>15</sup> [Infection Prevention and Control guidance for Long-Term Care Facilities in the context of COVID-19 \(WHO\)](#)

<sup>16</sup> [Advice on the Use of Masks in the Context of COVID-19 \(WHO\)](#)

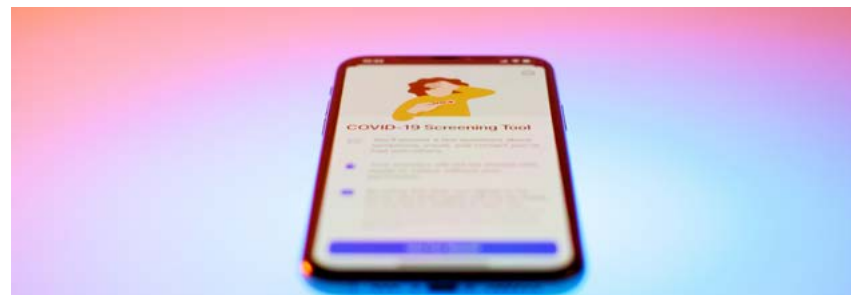


- 既存の里親と新規の里親へのアウトリーチは、必要に応じて適切な支援を受けることで他の子どもを養育する意思があるかどうかを判断するために行われるべきです。特に、乳幼児、暴力を経験した子どもや十代の若者、特定の医療やその他のケアニーズを持つ障害を持つ子ども、親戚と一緒に暮らすことができない移民や難民の子どもなど、特定のリスクに直面している子どもを委託するために経験豊富な里親を特定すべきです。
- 移動や社会的接触の制限を考えると、再統合後の子どものモニタリングに関してケース管理の新たな在り方を考える必要があります。
- 児童に関する重要な決定に養育者の関与を求めることを含め、里親または施設で暮らす子どもと家族とのつながりとコンタクトは、遠隔であっても促進されるべきです。障害を持つ子どもや養育者とのコミュニケーションを図るために、あらゆる努力をする必要があります。
- 児童保護の実践者は、地域のリーダーや医療従事者等と協力し、リスクの高い家族的養育の委託があるか特定する必要があります。現状でリスクファクターとして考慮すべきなのは、ウイルスにさらされた場合に養育者または子どもが感染する危険性が増しているかという点です。また、養育者の生活や住宅、社会サービスへのアクセスの喪失、またはスティグマや差別の結果として里親の養育力低下が起こり、委託不調が発生することです。
- リスクの高い状況下では、ケースワーカーと所属機関は、可能な限り定期的な遠隔連絡を行い(週に3回)、支援計画および危機管理計画を事前に必ず策定しておく必要があります<sup>17</sup>。計画は、養育者や子ども、両親や家族と一緒に考える必要があります。この計画はまた、代替りの養育者になる可能性のある人とも事前に議論されるべきです(そして合意する)<sup>18</sup>。
- 電話やインターネットに接続していないリスクの高い脆弱な家族のために、ケースワーカーは、適切な保護措置を講じた上で、公衆衛生上の指導と手順に従って家庭訪問を継続する必要があります。

## RESOURCES

<sup>17</sup> [Ethical Decision-Making in the Face of COVID-19 \(IFSW\)](#)

<sup>18</sup> [Guidelines for Virtual Monitoring of Children During COVID-19 \(BCN\)](#)



## テクノロジーを駆使して効果的にコミュニケーションやコーディネートをする

社会福祉のワーカーは、ケース管理の方法を再考する必要があります。(評価、リスク識別、サポート、通常の電話やその他遠隔での連絡を通じてフォローアップする) オンラインまたは電話による通告のスクリーニング、措置の必要性和適合性の評価、措置とモニタリングの承認の手順を**確立します**。

他者との接触が危険だとされている親/養育者と子どもがつながる一オンラインプラットフォームやWhatsAppディスカッショングループ、その他の電話と遠隔の連絡手段によって大幅に孤立を軽減することができます。

メンタルヘルスや心理社会的支援、オンラインリソースなどを紹介するオプションを改訂する必要があります。

子ども、家族、施設が虐待やネグレクトを報告するためのホットラインとチャイルドヘルプラインの能力を強化する。

バーチャル採用戦略(ラジオ、オンライン、テレビなど)は、特に現在は委託を受けていない登録里親を対象としたものを検討する必要があります。

家族のつながりと接触はリモートで促進されるべきです。障害を持つ子どもや養育者がコミュニケーションを取ることができるようにあらゆる努力が必要です。

教育、レクリエーション活動、健康とフィットネスの維持、ライフスキルと職業目標の達成、制限やロックダウンの場合のサービスを受け取るための新しい方法

テクノロジーの使用増大によってもたらされるリスクを軽減するために、保護手順が更新されていることを確認します。

Photo by Brian McGowan, Unsplash

家庭



序論



影響



アプローチ



家庭での養育



代替養育



路上生活を送る子ども



自立者



補足資料



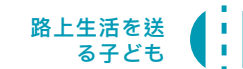




- 子どもが情緒および行動上の課題を含む複雑なニーズを持っている場合、搾取の危険にさらされている場合、または、家族の死亡や養育者の病気などの特定の危機がある場合は、利用可能なファミリーグループカンファレンスサービスへの紹介が必要かもしれません。地方自治体は、WeChat、WhatsApp、Skype、ZOOM などを活用し、遠隔でファミリーグループカンファレンスの招集を始めており、暫定的な計画の取り決めと手配に関する合意を形成しています。例えば、家族グループの会議に関する情報の例など。



Photo Save the Children



## 路上生活をしている子どもの保護

路上生活をしている子どもの基本的なニーズの充足はドロップインセンターを通じて提供されるサービスに依存しています。これらの子どもたちは健康状態が悪いことが多く、COVID-19に対してより脆弱という可能性があります。さらに、これらの子どもたちは、普段近くにいる他の子どもや大人が都市部を離れた可能性がある状況下で、路上で一人暮らしをしている場合は性的虐待や暴力に対して脆弱である可能性があります。この子どもたちの多くはまた、自ら生活費を稼いでいるため、封じ込め措置のために収入損失に直面し、生き残るためにさらなるサポートが必要でしょう。

### 路上生活を送る 子どもを守るために何をしなければならないか：

- 政府や市民団体は、ドロップインセンターや類似の施設が必要不可欠なサービスとして指定され、[COVID-19<sup>19</sup>の普及を防ぐ方法](#)と健康、衛生、保護、教育、栄養などの重要なサービスに関する情報を備えていることを確認する必要があります。
- 警察は、路上生活をしている 子どもが自主隔離していないために逮捕されることがないように保証することを指示すべきであり、代わりに、避難所やその他の適切な代替住宅に行くことをサポートし、児童ヘルプラインを含む健康、児童保護、その他の支援サービスにつなぐ必要があります<sup>20</sup>。



Photo by Boram Kim on Unsplash

### RESOURCES

<sup>19</sup> [COVID-19 and Street Connected Children's Rights \(CSC\)](#)

<sup>20</sup> [Technical Note: COVID-19 and Children Deprived of their Liberty](#)

家庭



序論



影響



アプローチ



家庭での養育



代替養育



路上生活を送る子ども



自立者



補足資料





## 社会的養育を離れた若者と自立した人を支援する：

社会的養育から自立に移行する若者（ケアリーバー）は、COVID-19危機の間に重大なリスクに直面しています。一部の若者は、パンデミックと同時に社会的養育を離れ、自立生活や成人サービスへの移行過程にあったかもしれません。彼らはすでに教育と生活の機会へのアクセスや広範囲にわたる排除やスティグマなどの重大な課題に直面しているので、最も長期的な影響を受ける可能性が高いといえます。

### 自立生活を送るケアリーバーを守るために何をしなければならないか

- ケースワーカーは一人暮らしのケアリーバーに特別な注意を払い、できるだけ多くのケアリーバーに連絡し、彼らの健康状態のチェックや支援ニーズのアセスメントや COVID-19 から自分を守るための基本的な情報提供をするために事前に問い合わせをしておく必要があります。
- 機関は、宿泊施設が確保できておらず、生計を立てることができないケアリーバーの優先順位を付け、ターゲットを絞った緊急支援を提供する必要があります。ケースワーカーは、上位組織と協力の上、現金が入手できずに生活費等の困窮に直面した場合にバウチャーによって若者が日用品を購入することができるか確認しなければなりません。

- 組織は、オンラインメンタルヘルスサポートサービスや養育者との定期的な連絡の円滑化などを通じて、メンタルヘルスと心理社会的支援へのアクセスをサポートする必要があります。
- ケースワーカーは、特に集団/複数人の宿泊施設で自立生活を送る若者が社会的距離、隔離、検疫要件を円滑かつ効果的かつ確実に実施するために、特別な規則に合意するよう若者を支援すべきです。
- アドボカシーサービスと当事者グループは、多くの場合、実践的なサポート、ガイダンス、メンターシップを提供するなど重要な役割を果たします。これらの組織へ提供する資金を増やして、オンラインおよび電話サポートを開発し、その範囲を拡大できるように支援する必要があります。例えば、モデレートされたWhatsAppグループなどを通じて、若者同士が「バディシステム」を確立し、連絡を取り合い、お互いの状態や健康を確認したり、必要に応じてサポートすることができます。

家庭



序論



影響



アプローチ



家庭での養育



代替養育



路上生活を送る子ども



自立者



補足資料



## 補足資料

Better Care Network (BCN): Resource Center on COVID-19 and Children's Care

<https://bettercarenetwork.org/library/particular-threats-to-childrens-care-and-protection/resource-center-on-covid-19-and-childrens-care>

The Alliance for Child Protection in Humanitarian Action:

<https://alliancecpha.org/en/COVID19>

UNICEF:

<https://www.unicef.org/coronavirus/covid-19>

International Disability Alliance (IDA):

<https://www.internationaldisabilityalliance.org/content/covid-19-and-disability-movement>

Early Childhood Development Action Network (ECDAN):

<https://www.ecdan.org/>

COVID-19 Parenting:

<https://www.covid19parenting.com/>

Inter-agency Network for Education in Emergencies (INEE):

<https://inee.org/collections/coronavirus-covid-19>

Global Social Service Worker Alliance (GSSWA):

<http://socialserviceworkforce.org/resources/blog/social-service-workers-mitigating-impact-covid-19>

International Organization for Migration (IOM):

<https://www.iom.int/covid19>



## 謝辞

このテクニカルノートの執筆にあたり、下記の組織や個人が寄与しました

The Alliance for Child Protection in Humanitarian Action  
Better Care Network  
Catholic Relief Services  
The Centre for Excellence for Children's Care and Protection (CELCIS)  
Changing the Way We Care  
CRIN  
Family for Every Child  
Faith to Action Initiative  
Hope and Homes for Children  
International Disability Alliance  
International Organization on Migration (IOM)  
International Rescue Committee (IRC)  
International Social Service  
LUMOS

Maestral International  
The Martin James Foundation  
Office of the Special Representative of the Secretary-General on Violence Against Children  
Plan International  
RELAF  
Save the Children  
SOS Children's Villages International  
UNHCR  
UNICEF  
World Vision  
John Williamson, Children in Adversity, USAID  
Joan Lombardi (Early Opportunities)  
WHOによる草稿への論評に感謝します。

このテクニカルノートは、下記の組織によって支持されています

